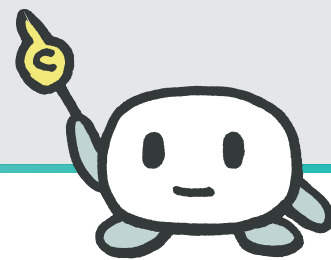




## ③ エア発生時の対応ポイント



カートリッジ内に気泡(エア)があると、インスリンが注入されず、高血糖になるおそれがあります。

インスリン充てん操作時やポンプ使用中の際は、下記のポイントにご注意ください。

	質問	ご回答	解説
インスリン準備	1～2時間前に冷蔵庫からインスリンのバイアル瓶を取り出し、常温に戻していますか。 	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	冷えたままのインスリンを充てんすると、温度差で気泡(エア)が発生する原因となる場合があります。
インスリン充てん操作	充てん器のレバー操作は“ゆっくり”と操作できていますか。 	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	充てん器レバーを“ゆっくり”握って、“ゆっくり”離すことで、細かい空気を巻き込みにくくなります。
	インスリン充てん後に、カートリッジ内に気泡があった場合は、気泡の除去(エア抜き)を実施していますか。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	カートリッジ内に気泡があると、インスリンが注入されず、高血糖になるおそれがあります。
	インスリン充てん後の気泡の除去(エア抜き)手順は分かりますか。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	<b>詳細は、中面の手順をご確認ください。</b>
ポンプ使用中の気泡(エア)確認	使用中に発生した気泡(エア)の確認方法は分かりますか。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	ポンプ本体とカートリッジの接続は、無用に外さないでください。エア発生時はカートリッジの裏側からエアを確認します。 <b>詳細は、中面の手順をご確認ください。</b>
	ポンプ使用中の気泡の除去(エア抜き)手順は分かりますか。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	ポンプ使用中にエアが発生した場合は[フラッシュ]機能を使用します。 <b>詳細は、中面・裏面の手順をご確認ください。</b>

メディセーフウィズスマートのくわしい使い方については取扱説明書、または、かんたんスタートガイドブックをご参照ください。

製品についてのご相談やお問い合わせは、テルモ・コールセンターまでご連絡ください。

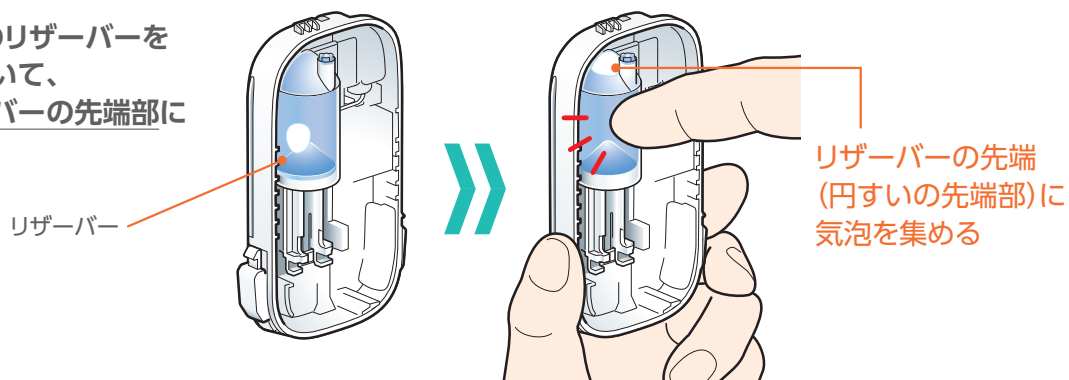

**テルモ・コールセンター**  
 インスリンポンプ専用 24時間365日受付  
 パッチ いつもいっしょ  
**☎ 0120-84-1214**

# カートリッジ充てん後の気泡除去方法と注意点

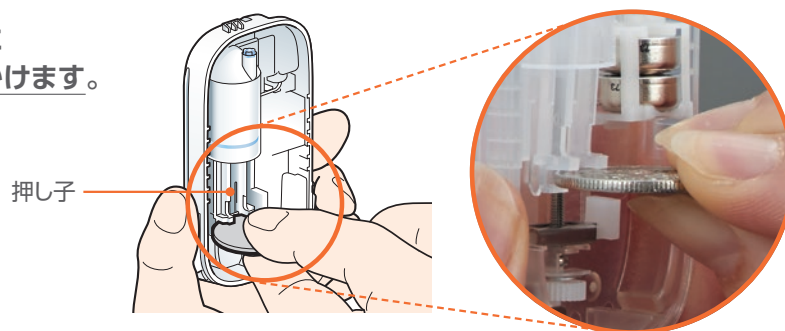
インスリン充てん後に、リザーバーに直径1mm以上の気泡(エア)が確認された場合は、次の手順1~7にしたがって気泡を除去(エア抜き)してから、リモコンによるプライミングを行ってください。

気泡が残っていると、インスリンが注入されず、高血糖になるおそれがあります。

- 1** カートリッジのリザーバーを指で軽くたたいて、気泡をリザーバーの先端部に集めます。

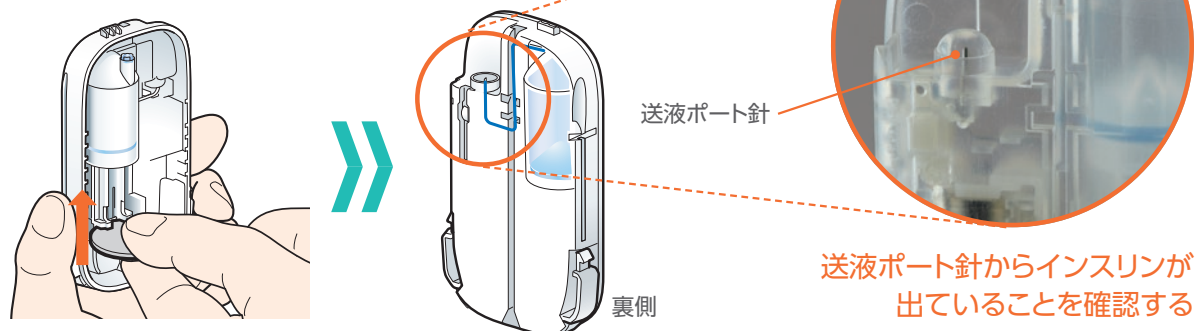


- 2** 押し子の下部にある溝に100円等の硬貨を引っかけます。



- 3** カートリッジ裏側の「送液ポート針」からインスリンが出てくるまで、押し子を押し上げて気泡を出します。押し子はまっすぐ、ゆっくりと、平行に上げてください。

ねじや歯車は精密機構部ですので、この操作の際に触らないよう、ご注意ください。



- 4** ポンプ本体とカートリッジを接続します。

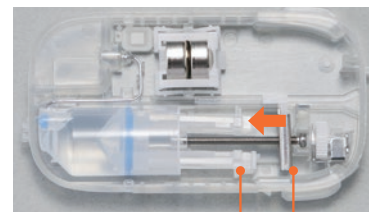
- 5** ポンプとリモコンの通信を設定します。

## 6 リモコンの「ポンプ内部流路充てん」画面で「充てん開始」をタッチして、プライミングを開始します。



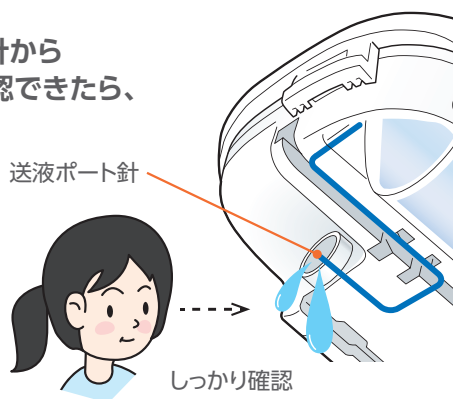
### 注意

プライミングには、スライドナットと押し子を接続させる目的もあります。カートリッジ充てん後の気泡除去(エア抜き)を実施した場合も、再度プライミング(ポンプ内部流路充てん)操作を必ず実施し、連続したインスリンの滴下を確認してください。スライドナットと押し子が接続されないとインスリンの送液が開始されず、高血糖になるおそれがあります。



押し子  
スライドナット(金属の板)

## 7 インスリンが送液ポート針からポタポタ落ちることを確認できれば、「停止」をタッチします。



### 重要ポイント

- 必ずプライミングを実施し、連続したインスリンの滴下を確認してください。
- カートリッジの送液ポート針周囲にインスリンがたまった場合は、ホルダーに取り付ける前にアルコール綿等でふき取ってください。

### プライミング時間の目安

- 200Uの場合：約1分
- 150Uの場合：約2分
- 100Uの場合：約3分半

## ご使用中の気泡確認方法と除去方法(フラッシュ)

メディセーフウィズスマートをご使用中に、カートリッジのリザーバー内に大きな気泡(エア)が確認された場合は、フラッシュ機能を使用して必ず気泡を除去(エア抜き)してください。

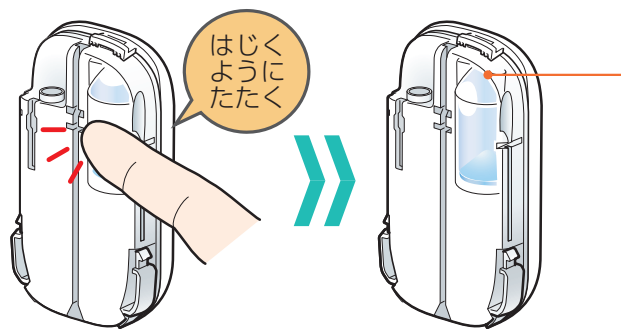
大きな気泡がリザーバー内に残ったままだと、インスリン注入の妨げになり、高血糖になるおそれがあります。

## 1 リモコンの「基礎レート一時停止」をタッチした後、ポンプをホルダーから外し、カートリッジ側からリザーバーを確認します。

### 注意

必ずポンプをホルダーから外した状態でフラッシュを実施してください。ポンプがホルダーに接続した状態ではフラッシュは実施できません。

**2** 大きな気泡(エア)が確認された場合は、ポンプを右図のように縦に持ち、カートリッジ背面からリザーバー部分を指ではじくようにたたいて気泡をリザーバーの先端部に集めます。



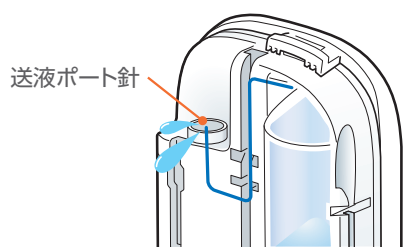
リザーバーの先端(三角すいの先端部)に気泡を集める

**3** ポンプを縦に持ち、リザーバーの先端部に気泡を集めた状態で、リモコンの一時停止中画面で[フラッシュ]→[フラッシュ]をタッチし、リザーバー、ポンプ流路内の空気を押し出します。[フラッシュ]を1回タッチするごとに1Uずつ送液されます。

フラッシュするとき

[基礎レート一時停止]をタッチ [フラッシュ]をタッチ [フラッシュ]をタッチ 再度フラッシュする場合 [再フラッシュ]をタッチ 終わるときは [完了]をタッチ

**4** 送液ポート針から、連続したインスリンの送液が確認できるまで、[再フラッシュ]をタッチし、送液を繰り返します。



カートリッジの送液ポート針周囲にインスリンがたまった場合は、インスリンをアルコール綿等で拭き取ってください。

エア抜きが完了したら、[完了]をタッチしてポンプを挿入→[基礎レート再開]→[再開]をタッチ

**注意** ポンプの装着忘れ、基礎レートの再開忘れにご注意ください。基礎レートが停止してから15分毎にアラートでお知らせします。

重要ポイント

- ・ポンプ本体とカートリッジの接続は、無用に外さないでください。
- ・使用中にポンプ本体とカートリッジを外した後、再度同一カートリッジと接続した場合は「リザーバー内薬液残量表示」と「交換時期表示」がリセットされ、正しく表示されません。

